

Zoom でつなぐ 西益津小×ユニ・チャーム株式会社

～西益津小6年生がコロナ禍で働いている人たちの苦労や工夫についてインタビュー！～



2月15日（月）、西益津小学校とユニ・チャーム株式会社をZOOMでつなぎ、西益津小6年生が担当者からコロナ禍での苦労や工夫について学びました。

授業では、ユニ・チャーム株式会社の福村氏から、最初に会社の概要についてお話をいただいた後、子どもたちは、仕事のやりがいや苦労、コロナ禍で仕事はどう変化したかなど、積極的に質問しました。



最後には、福村氏から「夢や目標を持つと頑張れる。自分が決めたらやり通すことが大事」とメッセージが贈られました。

子どもたち ➡➡➡ 専門家

ユニ・チャーム株式会社
福村さん



Q1. コロナ禍で変わったことはなんですか？

A1. 日本で1人目の感染者が出たとき、マスクの注文が一気に10倍になり、マスクの生産が24時間体制へと変わりました。同時に、ユニ・チャームはマスクもあるメーカーだと世の中の評価も変わっていきました。



Q2. 今後チャレンジしたいことはなんですか？

A2. ユニ・チャームの商品は、日本やアジアでトップシェアを誇っています。国外では85カ国で商品を扱っていますが、アフリカなどまだ置いてない国がたくさんあります。世界で一番利用者のことを考えて作っている自信があるので、一人でも多く使ってもらえる人が増えるようにチャレンジし続けたいです。



本授業は、職業観育成事業として、様々な専門家と藤枝市内の子どもたちをテレビ会議システムでつなぎ、キャリア教育の一環として行っています。